

都道府県別の発掘調査報告書総目録 高知県・島根県編の公開

1、概要

(1) 総目録の公開

日 時：2019年3月14日（木）よりWEB公開

URL（全国遺跡報告総覧）：

高知県編 <https://sitereports.nabunken.go.jp/36092>

島根県編 <https://sitereports.nabunken.go.jp/36091>

※印刷物は、奈良文化財研究所図書資料室で閲覧可能。国立国会図書館、各県立図書館、県内大学図書館等に配布済み

(2) 概要

これまで戦前を含め発掘調査報告書の発行数は不明であり、十数万～二十万冊とも言われてきました。奈良文化財研究所（以下、奈文研）では、実数を確定するため、全国の発掘調査報告書の総目録を作成しています。2018年4月に公開した兵庫県編に続き、高知県編と島根県編が完成しましたので、公開します。

(3) 作成方法

奈文研図書資料室、国立国会図書館、大学図書館や公共図書館等の書誌データを収集・突合し、暫定リストを作成しました。そのうえで、県教育委員会文化財課を通して県内市町村文化財専門職員に暫定リストのチェックと加筆修正を依頼し、完成させました。

(4) 工夫した点（新規性）

- ・地方公共団体文化財専門職員と協同で作成することで網羅性を高めました。
- ・地方公共団体発行の報告書に限らず、大学等の機関が発行した報告書も収録しました。
- ・大学図書館系の図書データベースである CiNi iBooks と、国立国会図書館および公共図書館の図書データベースである国立国会図書館サーチに登録された書誌情報を同定しました。CiNi iBooks、国立国会図書館、奈文研図書システムの書誌 ID、全国遺跡報告総覧の ID をそれぞれ掲載し、重複のない総目録の管理番号を付与しました。
- ・目録の EXCEL データも公開することで、データの再利用性を高めました。

(5)データ

- ・収録書誌件数：高知県 681 件 島根県 1790 件
- ・収録対象：史跡や埋蔵文化財に関わる調査成果を記載した冊子体（発掘調査報告書、概報、保存管理計画書、遺跡地図等）。論文を掲載した学術雑誌等は対象外。

2、背景と期待される効果

【背景（現状の課題）】

・報告書総数が不明

日本では埋蔵文化財行政の着実な推進によって、膨大な発掘報告書が発行され、長年にわたる日本考古学の研究蓄積があります。既に推定数十万冊の報告書が発行されており、さらに年間約 1,500 冊の発掘報告書が発行されています。奈文研図書資料室の蔵書数は 36 万冊あり、国立国会図書館と並ぶ日本屈指の「文化財専門図書館」ですが、奈文研図書資料室および国立国会図書館においても、すべての報告書を所蔵していません。現時点において、すべての報告書を所蔵している機関はなく、また総数も不明です。

・報告書書誌のバラつき

発掘調査報告書は、商業出版として流通しないため、ISBN 等のコードはありません。専門的な報告書のため、所蔵館ごとに作成した書誌にバラつきがあるケースがあります。そのため、大学図書館系の図書データベースである CiNiiBooks と、国立国会図書館および公共図書館の図書データベースである国立国会図書館サーチに登録された書誌情報が同一であるか 1 件ごとに判断する必要があります。

・市民にとって情報アクセスにハードル

地域では、地方公共団体をはじめ、大学など様々な機関が発掘調査を実施し、報告書を刊行しています。そのため市民が地域の歴史を研究するためには、網羅的にそれぞれの調査成果を把握する必要があります。しかし、各機関が調査したという事実を事前に知らなければ、その調査成果にアクセスすることすらできません。また、閲覧したい報告書が判明しても、どこに所蔵されているかわかりませんでした。

【期待される効果】

・埋蔵文化財保護行政および地域研究における基礎的情報を提供

埋蔵文化財の保護および地域研究の推進のために、総目録は過去の成果の網羅的把握を可能とします。

・報告書の所蔵図書館がわかる

総目録は、当該地域の過去の調査成果を調べるインデックスとして活用することができます。必要とする報告書は、総目録に記載している ID を調べることで、どの図書館が所蔵しているかを確認できます。

電子データが公開されていれば、全国遺跡報告総覧にてインターネット上でも閲覧できます。

【参考情報】

・全国遺跡報告総覧とは

全国遺跡報告総覧（以下「総覧」）は、埋蔵文化財の発掘調査報告書を全文電子化して、インターネット上で検索・閲覧できるようにした「報告書のインデックス」です。「総覧」は、全国遺跡資料リポジトリ・

プロジェクトによって構築された遺跡資料リポジトリ・システムとコンテンツを奈文研が引き継ぎ、運用しているものです。

貴重な学術資料でありながら、流通範囲が限られ一般に利用しづらい報告書をインターネット上で公開することで、必要とする人が誰でも手軽に調査・研究や教育に利用できる環境の構築を目指しています。

現在、全国の大学や自治体等 663 機関の報告書類の書誌 35,270 件（うち 22,991 件は PDF 公開有）を収録しています（2019 年 3 月 14 日時点）。URL <http://sitereports.nabunken.go.jp/ja>

お問い合わせ先 奈良文化財研究所企画調整部 高田 Mail soran@nabunken.go.jp

② 報告書の所蔵図書館がわかる

閲覧したい報告書は分かったけど、どこに行けば閲覧できるのかわからないよ。
また、似たような報告書があって、図書データベース毎に区別がつかないよ。



発掘調査報告書総目録では、図書データベースごとのIDを整理してあります。このIDで、所蔵館を調べることができます。
区別しづらい報告書も、重複の無い管理番号で整理されていますよ。



報告書番号	題名	編纂者	発行年	NCID	JP番号	奈文研書誌ID	総覧ID	備考
10118009	高知県埋蔵文化財調査報告書：第31集 周委城跡	高知県教育委員会	1993.3	BN07265734	92010139	SB00112723	9356	
10118071	高知県埋蔵文化財調査報告書 第11-5次発掘調査報告書	高知県教育委員会	1991.3	BN0726140X	92010143	SB00112687	10792	
10118007	高知県埋蔵文化財調査報告書：第32集 土佐藩御用掛内匠頭全蔵公舎、第11集 倉屋地区の調査	高知県教育委員会	1991.3	BN07264624	9201008	SB00112724	10462	



NCID	JP番号	奈文研書誌ID	総覧ID
BN07265734	92010139	SB00112723	9356
BN0726749X	92010143	SB00112687	10792

大学図書館
に所蔵あり

国立国会
図書館に
所蔵あり

奈文研図書資料室
に所蔵あり

全国遺跡
報告総覧
で公開済
み

所蔵情報がわかったので、最寄りの図書館に行ってみよう。

